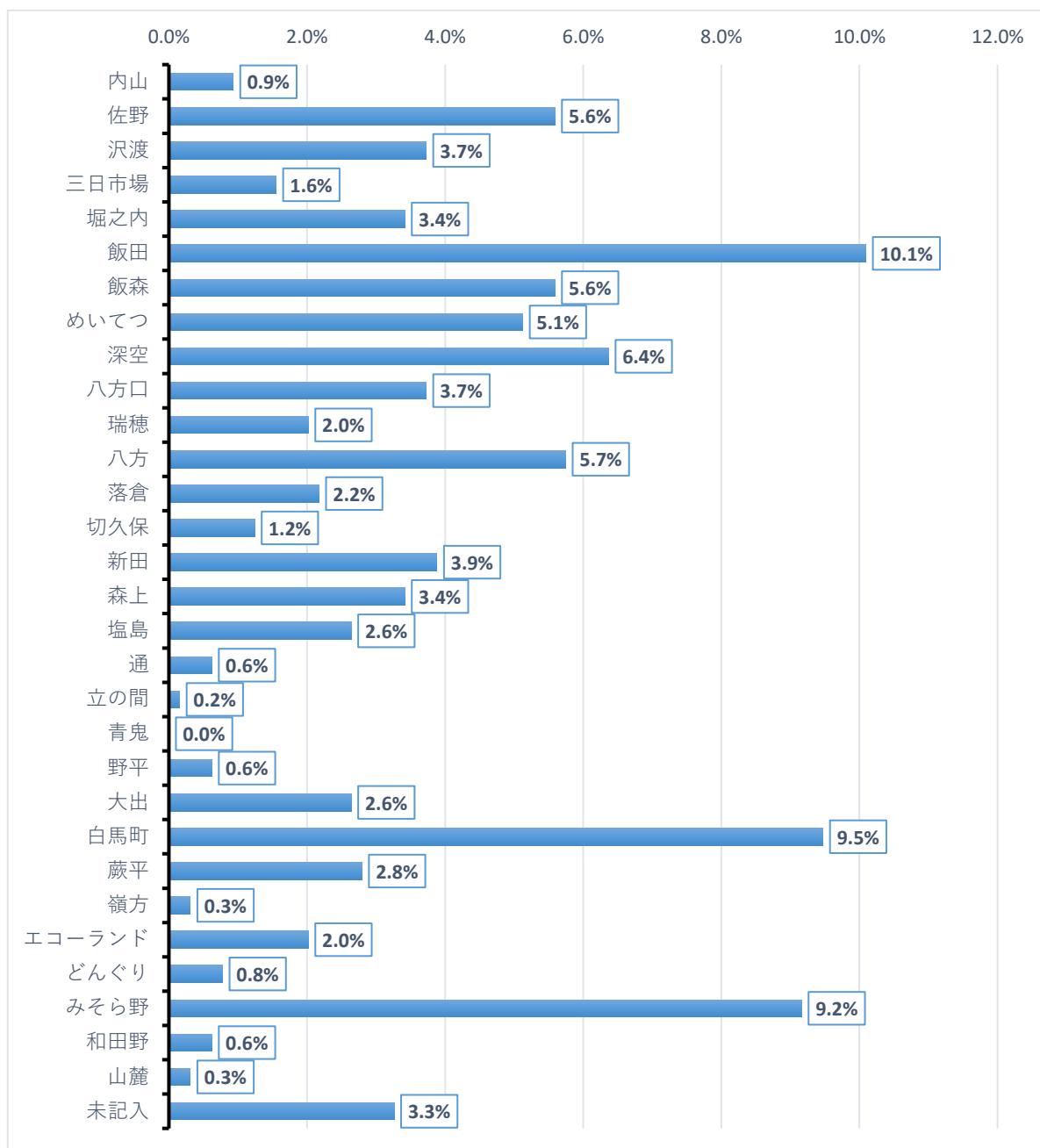


教育環境に関するアンケート結果（一般村民）

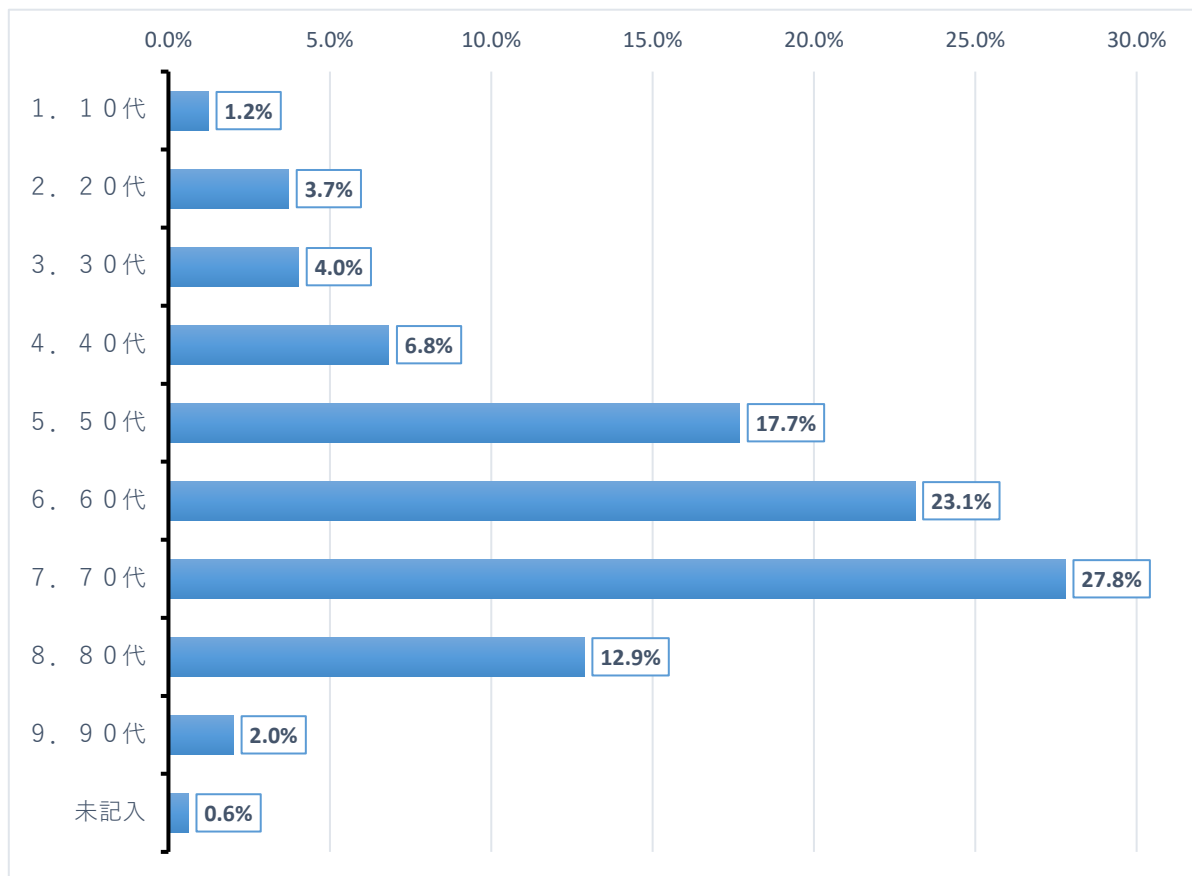
【問1】あなたがお住まいの行政区を選択してください。

〈644件の回答〉



【問2】あなたの年代を教えてください。(複数回答可)

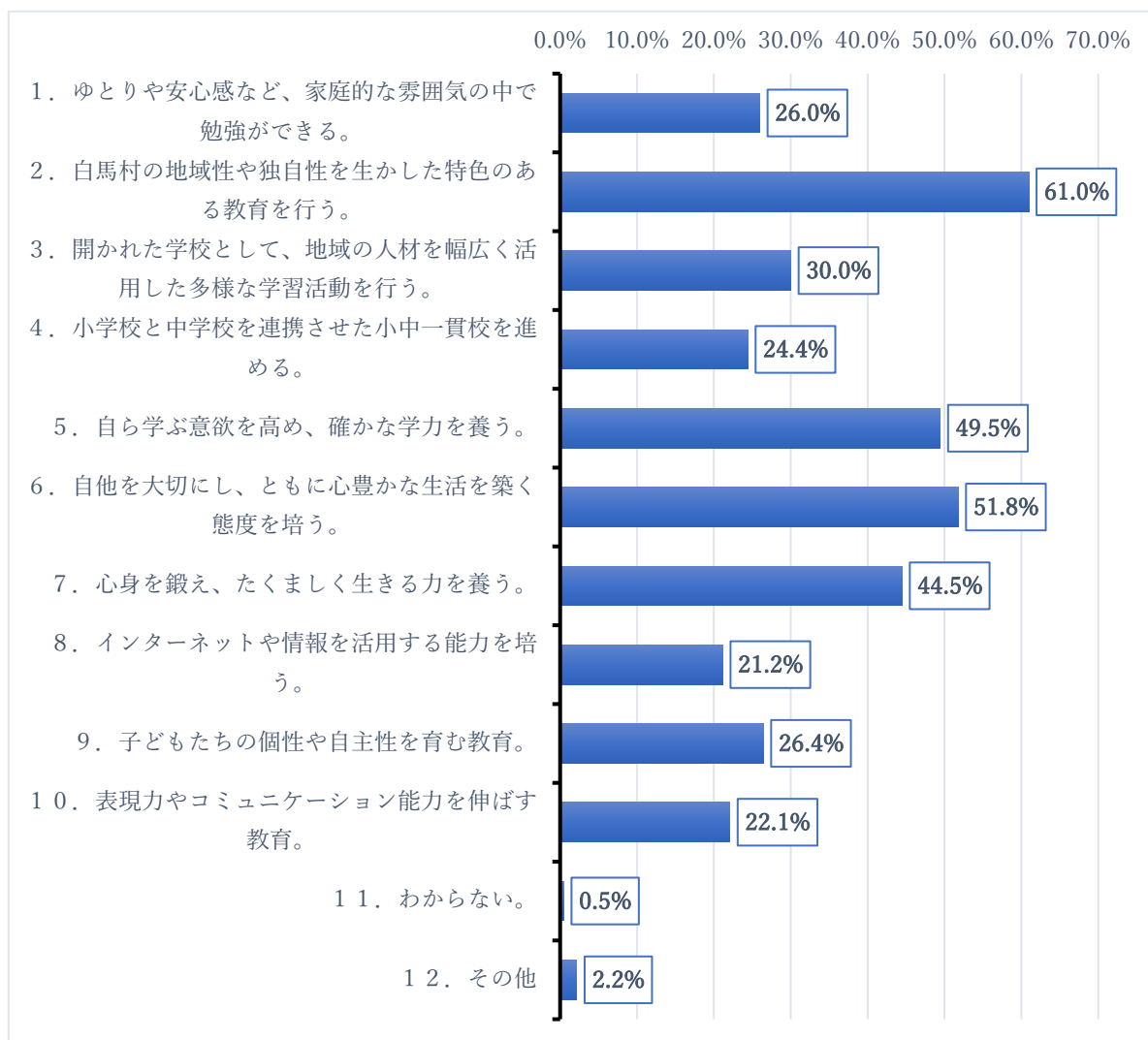
<644件の回答>



【問3】子どもを育てる学校像として、どのようなことが重要と考えますか。特に重視する項目を選択してください。（4つまで選択可）

「白馬村の地域性や独自性を生かした特色のある教育を行う。」が61.0%で最も高く、次いで「自他を大切にし、ともに心豊かな生活を築く態度を培う」51.8%、「自ら学ぶ意欲を高め、確かな学力を養う」49.5%、「心身を鍛え、たくましく生きる力を養う。」44.5%と続く。

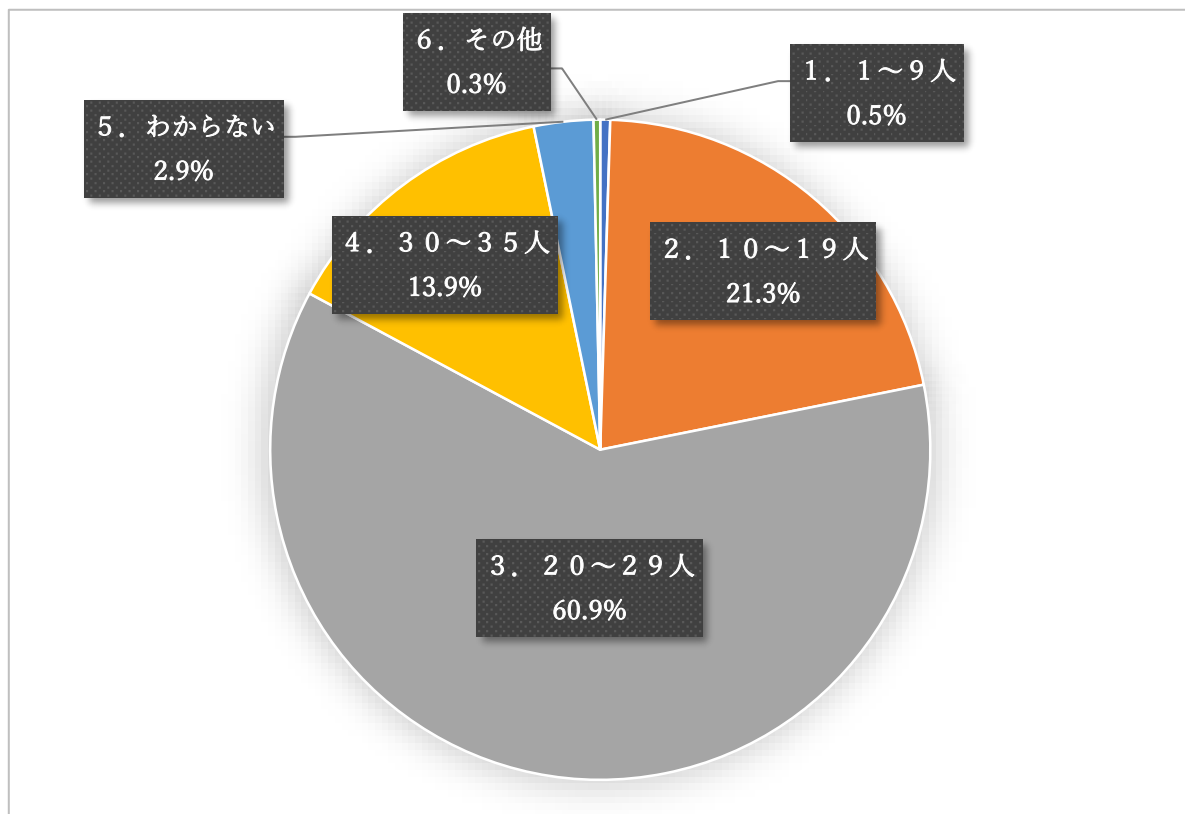
〈643件の回答〉



【問4】小学校の場合、1学級あたりの児童数は何人くらいが望ましいと思いますか。
(1つ選択)

「20～29人」が60.9%と約6割を占めている。次いで「10～19人」が21.3%、「30～35人」が13.9%、「1～9人」が0.5%で、「わからない」という回答も2.9%ある。

〈619件の回答〉



【問5】問4の理由をお聞かせください。(3つまで選択可)

1 「20～29人」を選んだ一般村民の理由

- 1 クラス内に色々な人間関係があり、社会性や協調性を身に付けることができる。

〈209名〉

- 2 児童の一人ひとりに目が届き、手厚い教育が受けられる。〈191名〉

- 3 子どもたちの人間関係が深まりやすく、クラス内の絆が強まる。〈172名〉

- 4 多様な考え方に触れ、切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい。〈160名〉

- 5 学校行事や団体活動において、子どもたちの活躍の場が多くなりやすい。

〈105名〉

- 6 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。〈75名〉

- 7 わからない〈3名〉

- 8 その他〈8名〉

2 「10～19人」を選んだ一般村民の理由

- 1 児童の一人ひとりに目が届き、手厚い教育が受けられる。〈116名〉

- 2 子どもたちの人間関係が深まりやすく、クラス内の絆が強まる。《69名》
- 3 クラス内に色々な人間関係があり、社会性や協調性を身に付けることができる。《44名》
- 4 多様な考え方に触れ、切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい。《27名》
- 5 学校行事や団体活動において、子どもたちの活躍の場が多くなりやすい。《23名》
- 6 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。《17名》
- 7 その他《8名》
- 3 「30～35人」を選んだ一般村民の理由**
- 1 クラス内に色々な人間関係があり、社会性や協調性を身に付けることができる。《59名》
- 2 多様な考え方に触れ、切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい。《51名》
- 3 子どもたちの人間関係が深まりやすく、クラス内の絆が強まる。《33名》
- 4 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。《29名》
- 5 学校行事や団体活動において、子どもたちの活躍の場が多くなりやすい。《19名》
- 6 児童の一人ひとりに目が届き、手厚い教育が受けられる。《11名》
- 7 わからない《1名》
- 8 その他《3名》
- 4 「1～9人」を選んだ一般村民の理由**
- 1 児童の一人ひとりに目が届き、手厚い教育が受けられる。《3名》
- 2 学校行事や団体活動において、子どもたちの活躍の場が多くなりやすい。《1名》
- 2 子どもたちの人間関係が深まりやすく、クラス内の絆が強まる。《1名》
- 2 クラス内に色々な人間関係があり、社会性や協調性を身に付けることができる。《1名》
- 2 その他《1名》
- 5 「わからない」を選んだ一般村民の理由**
- 1 わからない《7名》
- 2 多様な考え方に触れ、切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい。《5名》
- 3 児童の一人ひとりに目が届き、手厚い教育が受けられる。《2名》
- 3 子どもたちの人間関係が深まりやすく、クラス内の絆が強まる。《2名》
- 3 クラス内に色々な人間関係があり、社会性や協調性を身に付けることができる。《2名》
- 3 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。《2名》
- 7 その他《4名》
- 6 「その他」を選んだ一般村民の理由**
- 1 児童の一人ひとりに目が届き、手厚い教育が受けられる。《2名》
- 1 クラス内に色々な人間関係があり、社会性や協調性を身に付けることができる。

《2名》

2 学校行事や団体活動において、子どもたちの活躍の場が多くなりやすい。

《1名》

2 子どもたちの人間関係が深まりやすく、クラス内の絆が強まる。《1名》

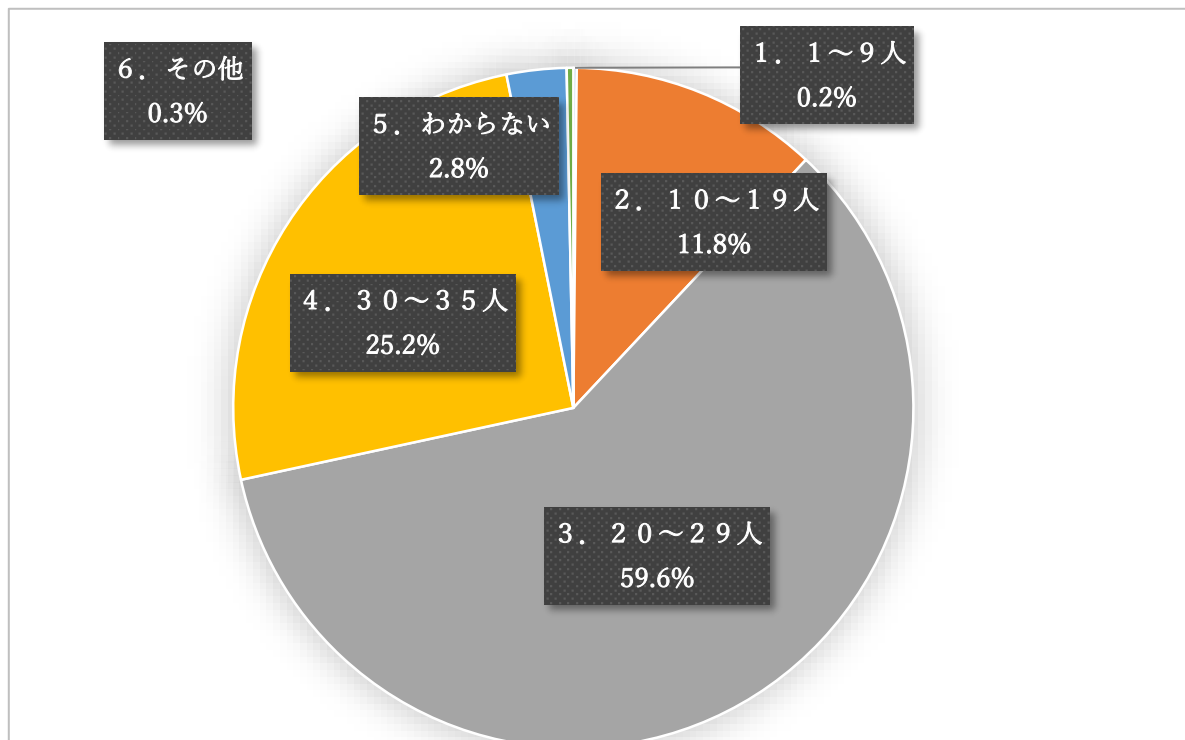
2 多様な考え方に触れ、切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい。《1名》

2 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。《1名》

【問 6】 中学校の場合、1 学級あたりの生徒数は何人くらいが望ましいと思いますか。
(1つ選択)

「20～29 人」が 59.6%で約 6 割を占めている。次いで「30～35 人」が 25.2%、「10～19 人」が 11.8%、「1～9 人」が 0.2%で、「わからない」が 2.8%、その他」が 0.3%である。

〈613 件の回答〉



【問 7】 問 6 の理由をお聞かせください。(3つまで選択可)

1 「20～29 人」を選んだ一般村民の理由

- 1 クラス内に色々な人間関係があり、社会性や協調性を身に付けることができる。〈206 名〉
- 2 多様な考え方に触れ、切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい。〈187 名〉
- 3 児童の一人ひとりに目が届き、手厚い教育が受けられる。〈172 名〉
- 4 子どもたちの人間関係が深まりやすく、クラス内の絆が強まる。〈169 名〉
- 5 学校行事や団体活動において、子どもたちの活躍の場が多くなりやすい。〈105 名〉
- 6 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。〈94 名〉
- 7 わからない〈5 名〉
- 8 その他〈4 名〉

2 「30～35 人」を選んだ一般村民の理由

- 1 クラス内に色々な人間関係があり、社会性や協調性を身に付けることができる。〈114 名〉

- 2 多様な考え方に触れ、切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい。《105名》
- 3 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。《56名》
- 4 子どもたちの人間関係が深まりやすく、クラス内の絆が強まる。《48名》
- 5 学校行事や団体活動において、子どもたちの活躍の場が多くなりやすい。

《46名》

- 6 児童の一人ひとりに目が届き、手厚い教育が受けられる。《14名》
- 7 わからない《1名》
- 8 その他《8名》

3 「10～19人」を選んだ一般村民の理由

- 1 児童の一人ひとりに目が届き、手厚い教育が受けられる。《59名》
- 2 子どもたちの人間関係が深まりやすく、クラス内の絆が強まる。《33名》
- 3 クラス内に色々な人間関係があり、社会性や協調性を身に付けることができる。

《25名》

- 4 多様な考え方に触れ、切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい。《19名》
- 5 学校行事や団体活動において、子どもたちの活躍の場が多くなりやすい。

《16名》

- 6 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。《12名》
- 7 その他《9名》

4 「わからない」を選んだ一般村民の理由

- 1 わからない《9名》
- 2 多様な考え方に触れ、切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい。《3名》
- 3 児童の一人ひとりに目が届き、手厚い教育が受けられる。《1名》
- 3 子どもたちの人間関係が深まりやすく、クラス内の絆が強まる。《1名》
- 3 クラス内に色々な人間関係があり、社会性や協調性を身に付けることができる。

《1名》

- 6 その他《4名》

5 「その他」を選んだ一般村民の理由

- 1 児童の一人ひとりに目が届き、手厚い教育が受けられる。《2名》
- 1 多様な考え方に触れ、切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい。《2名》
- 1 クラス内に色々な人間関係があり、社会性や協調性を身に付けることができる。

《2名》

- 2 学校行事や団体活動において、子どもたちの活躍の場が多くなりやすい。

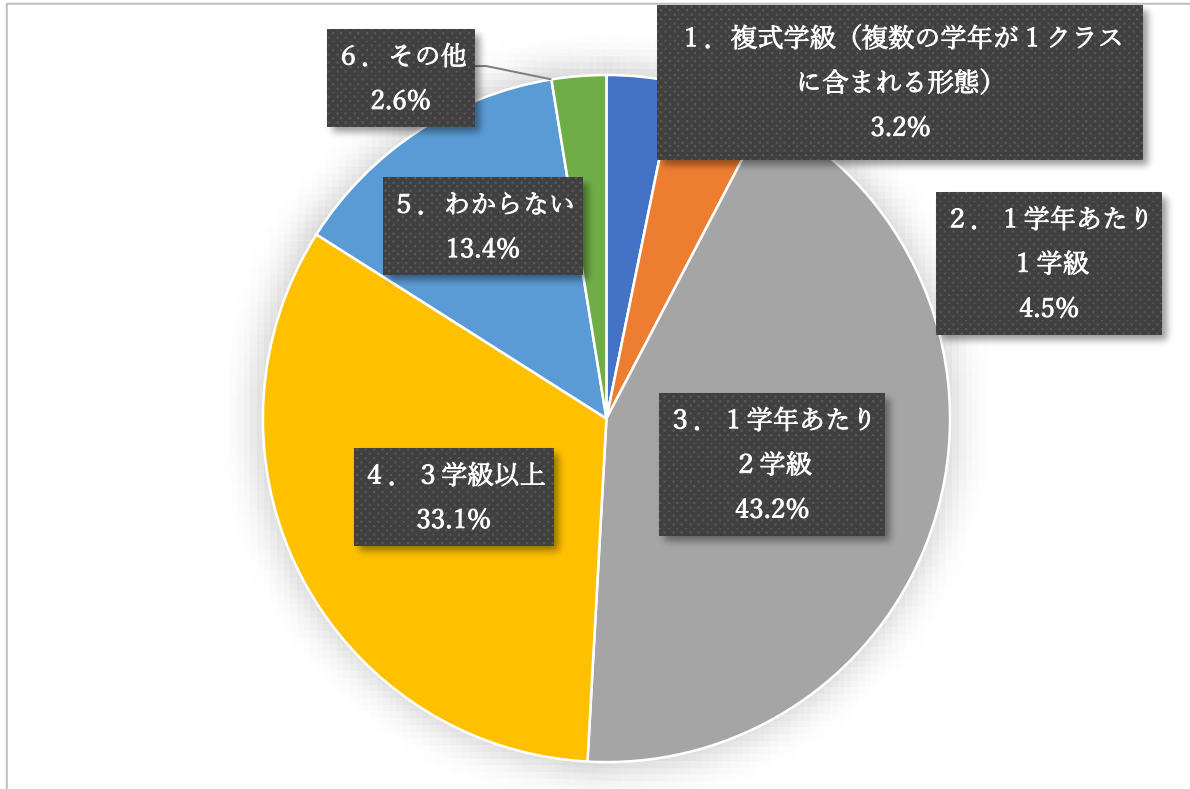
《1名》

- 2 子どもたちの人間関係が深まりやすく、クラス内の絆が強まる。《1名》
- 2 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。《1名》

【問 8】 1 学年あたりの学級（クラス）数は、何学級くらいが望ましいと思いますか。
（1つ選択）

「2 学級」が 43.2%で最も高く、次いで「3 学級以上」が 33.1%、「1 学級」が 4.5%、「複式学級」が 3.2%で、「わからない」という回答が 13.4%、「その他」が 2.6%である。

〈624 件の回答〉



【問 9】 問 8 の理由をお聞かせください。（3 つまで選択可）

1 「1 学年あたり 2 学級」を選んだ一般村民の理由

- 1 行き届いた指導を受けやすい。〈82 名〉
- 2 クラス替えができて友だちが広がり、児童・生徒同士の関係を新しくできる。〈56 名〉
- 2 運動会や学習発表会等の学校行事が盛大にできる。〈56 名〉
- 4 学校施設・教材等を利用しやすい。〈30 名〉
- 5 学校全体がまとまりやすい。〈26 名〉
- 6 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。〈6 名〉
- 7 異なった学年との縦の交流が行いやすい。〈5 名〉
- 8 クラブ活動や委員会など、様々な種類の団体活動の設置が可能となり、活動の選択の幅が広がる。〈4 名〉
- 9 わからない〈2 名〉
- 10 その他〈2 名〉

2 「1学年あたり3学級以上」を選んだ一般村民の理由

- 1 クラス替えができて友だちが広がり、児童・生徒同士の関係を新しくできる。
《140名》
- 2 クラブ活動や委員会など、様々な種類の団体活動の設置が可能となり、活動の選択の幅が広がる。《91名》
- 3 運動会や学習発表会等の学校行事が盛大にできる。《68名》
- 4 行き届いた指導を受けやすい。《53名》
- 5 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。《50名》
- 6 学校施設・教材等を利用しやすい。《23名》
- 7 学校全体がまとまりやすい。《22名》
- 8 異なった学年との縦の交流が行いやすい。《20名》
- 9 わからない《1名》
- 10 その他《7名》

3 「わからない」を選んだ一般村民の理由

- 1 わからない《47名》
- 2 行き届いた指導を受けやすい。《8名》
- 3 クラス替えができて友だちが広がり、児童・生徒同士の関係を新しくできる。
《7名》
- 4 学校全体がまとまりやすい。《3名》
- 5 学校施設・教材等を利用しやすい。《2名》
- 5 運動会や学習発表会等の学校行事が盛大にできる。《2名》
- 5 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。《2名》
- 5 クラブ活動や委員会など、様々な種類の団体活動の設置が可能となり、活動の選択の幅が広がる。《2名》
- 6 その他《6名》

4 「1学年あたり1学級」を選んだ一般村民の理由

- 1 行き届いた指導を受けやすい。《21名》
- 2 学校施設・教材等を利用しやすい。《10名》
- 3 学校全体がまとまりやすい。《7名》
- 4 クラブ活動や委員会など、様々な種類の団体活動の設置が可能となり、活動の選択の幅が広がる。《6名》
- 5 異なった学年との縦の交流が行いやすい。《3名》
- 6 クラス替えができて友だちが広がり、児童・生徒同士の関係を新しくできる。
《2名》
- 6 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。《2名》
- 8 わからない《1名》
- 9 その他《2名》

5 「複式学級」を選んだ一般村民の理由

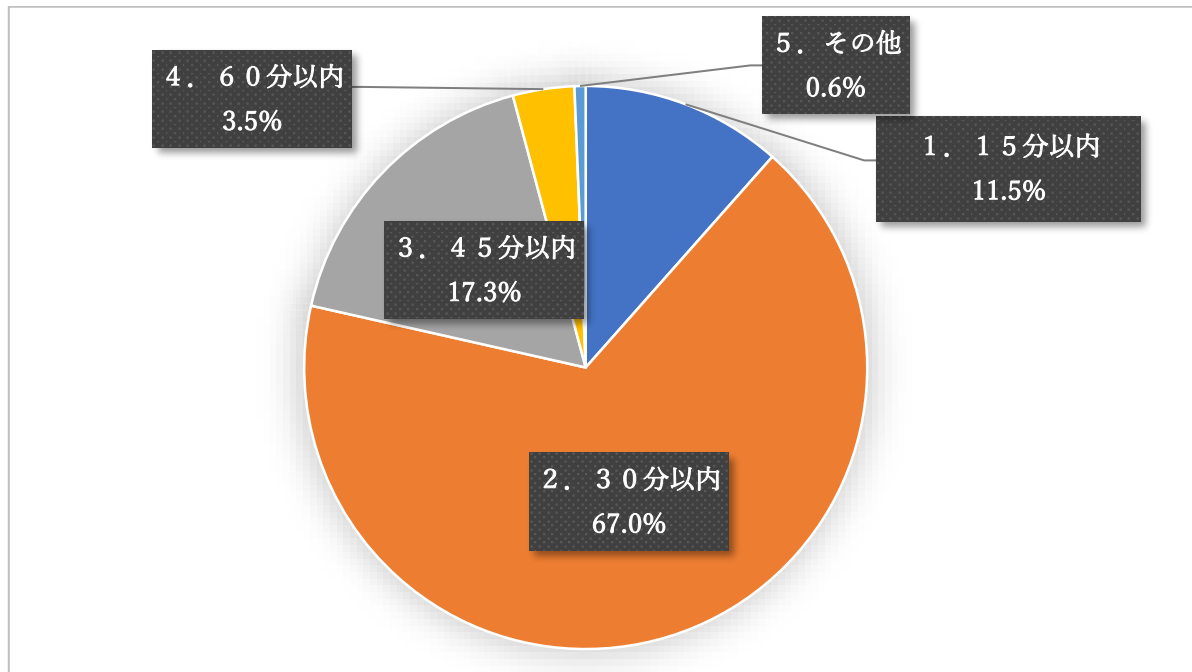
- 1 異なった学年との縦の交流が行いやすい。《12名》

- 2 行き届いた指導を受けやすい。《7名》
 - 3 学校全体がまとまりやすい。《6名》
 - 4 クラス替えができて友だちが広がり、児童・生徒同士の関係を新しくできる。
《4名》
 - 4 クラブ活動や委員会など、様々な種類の団体活動の設置が可能となり、活動の選択の幅が広がる。《4名》
 - 6 学校施設・教材等を利用しやすい。《3名》
 - 7 運動会や学習発表会等の学校行事が盛大にできる。《1名》
 - 7 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。《1名》
 - 9 その他《6名》
- 6 「その他」を選んだ一般村民の理由**
- 1 クラス替えができて友だちが広がり、児童・生徒同士の関係を新しくできる。
《8名》
 - 2 クラブ活動や委員会など、様々な種類の団体活動の設置が可能となり、活動の選択の幅が広がる。《5名》
 - 3 競争意識が働き、運動意欲や学習意欲が湧きやすい。《4名》
 - 4 学校全体がまとまりやすい。《2名》
 - 4 運動会や学習発表会等の学校行事が盛大にできる。《2名》
 - 6 行き届いた指導を受けやすい。《1名》
 - 6 異なった学年との縦の交流が行いやすい。《1名》
 - 6 わからない《1名》
 - 9 その他《2名》

【問 10】小学生の望ましいと感じる通勤時間（徒歩の場合）について、1つ選択してください。

「30分以内」が67.0%で最も高く、次いで「45分以内」が17.3%、「15分以内」が11.5%、「60分以内」が3.5%、「その他」が0.6%である。

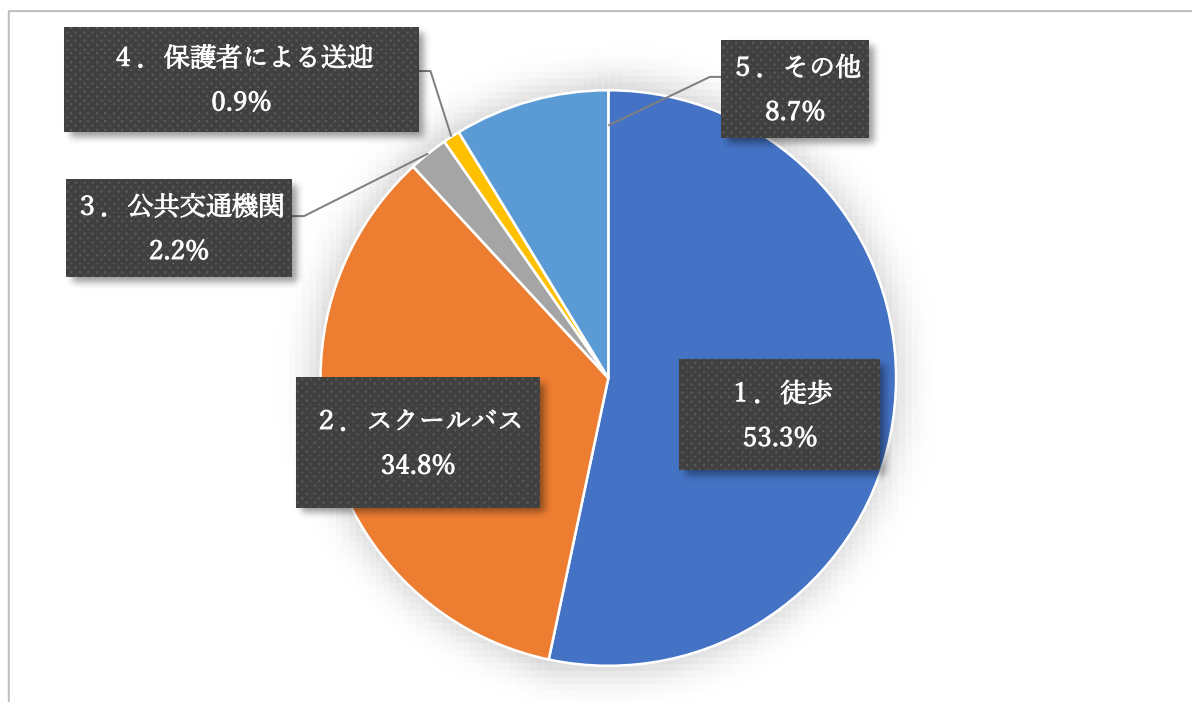
〈624件の回答〉



【問 11】小学生の望ましいと感じる通学方法について、1つ選択してください。

「徒歩」が53.3%と過半数を占めている。次いで「スクールバス」が34.8%、「公共交通機関」が2.2%、「保護者による送迎」が0.9%、「その他」8.7%である。

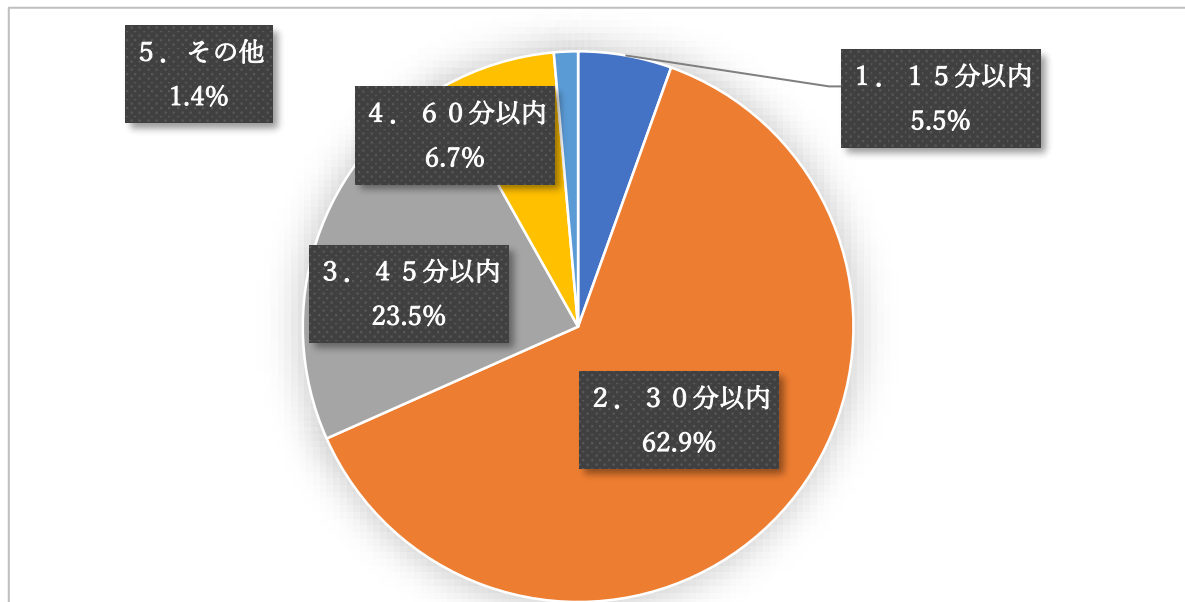
〈632件の回答〉



【問 12】中学生の望ましいと感じる通勤時間（徒歩又は自転車の場合）について、1つ選択してください。

「30分以内」が62.9%と最も高く、次いで「45分以内」が23.5%、「15分以内」が5.5%、「60分以内」が6.7%、「その他」が1.4%である。

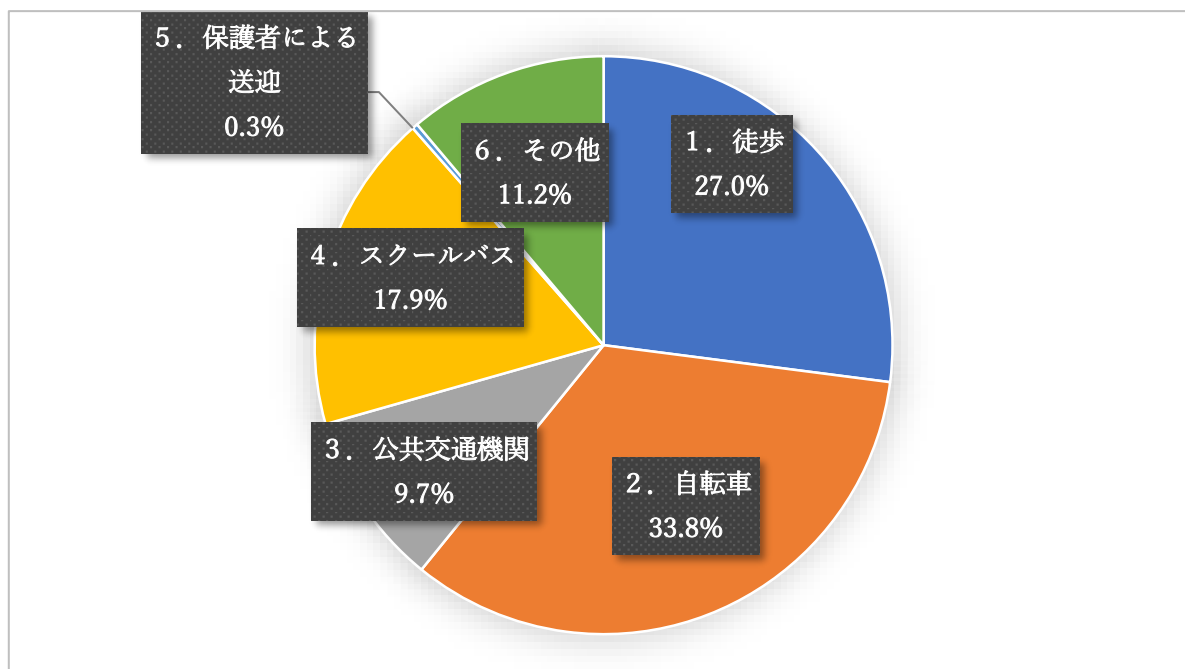
〈638件の回答〉



【問 13】中学生の望ましいと感じる通学方法について、1つ選択してください。

「自転車」が33.8%、「徒歩」が27.0%となっている。次いで「スクールバス」が17.9%、「公共交通機関」が9.7%、「保護者による送迎」が0.3%、「その他」が11.2%である。「その他」では、「基本は徒歩や自転車だが、状況に応じてスクールバスや公共交通機関を選択できると良い」という趣旨の回答が多い。

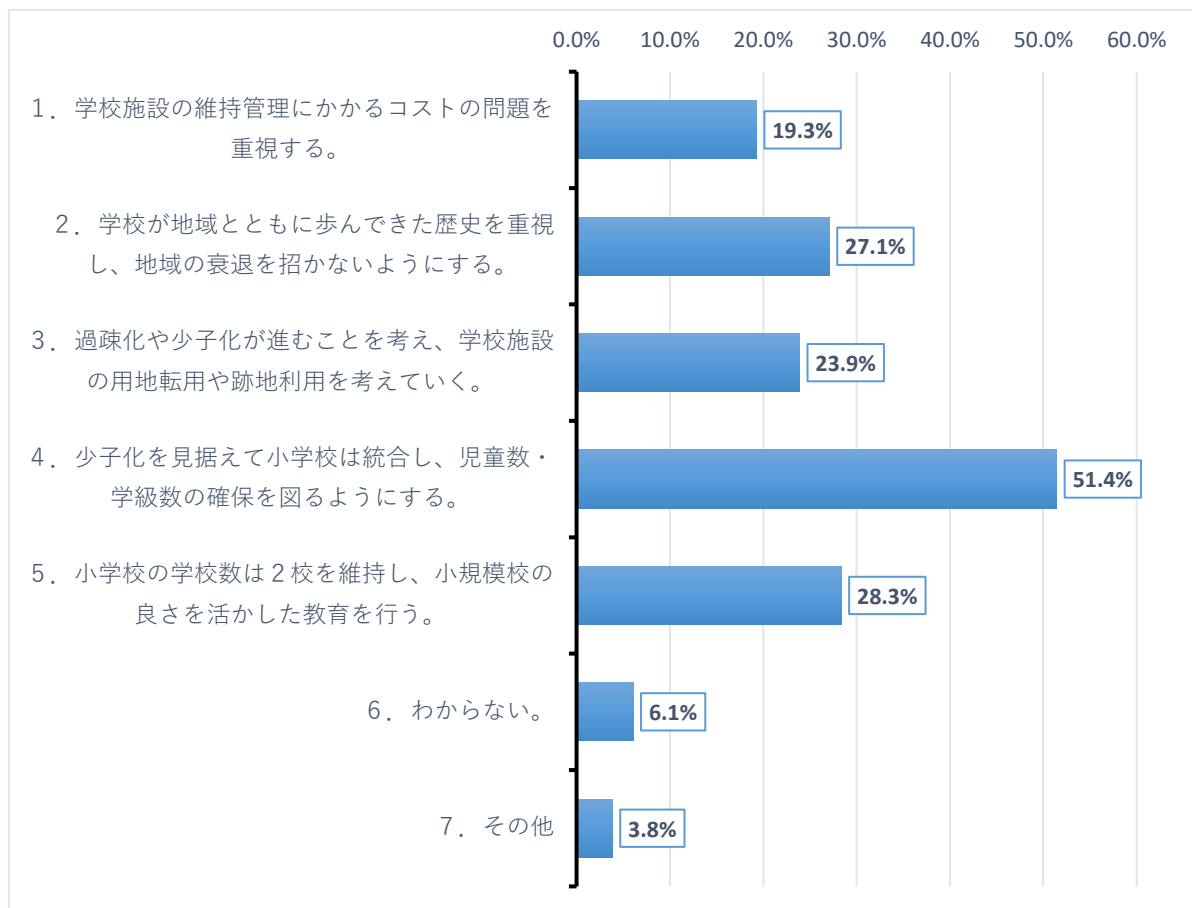
〈637件の回答〉



【問 14】 小学校の存続や統合を検討する上で、村としてどのような点を重視したら良いと思いますか。あなたの考えに最も当てはまるものを2つ選択してください。

「少子化を見据えて小学校は統合し、適正な児童数・学級数の確保を図るようにする。」が51.4%と最も高く、次いで「小学校の学校数は2校を維持し、小規模校の良さを活かした教育を行う。」が28.3%、「学校が地域とともに歩んできた歴史を重視し、地域の衰退を招かないようにする。」が27.1%、「過疎化や少子化が進むことを考え、学校施設の用地転用や跡地利用を考えていく。」が23.9%と続く。

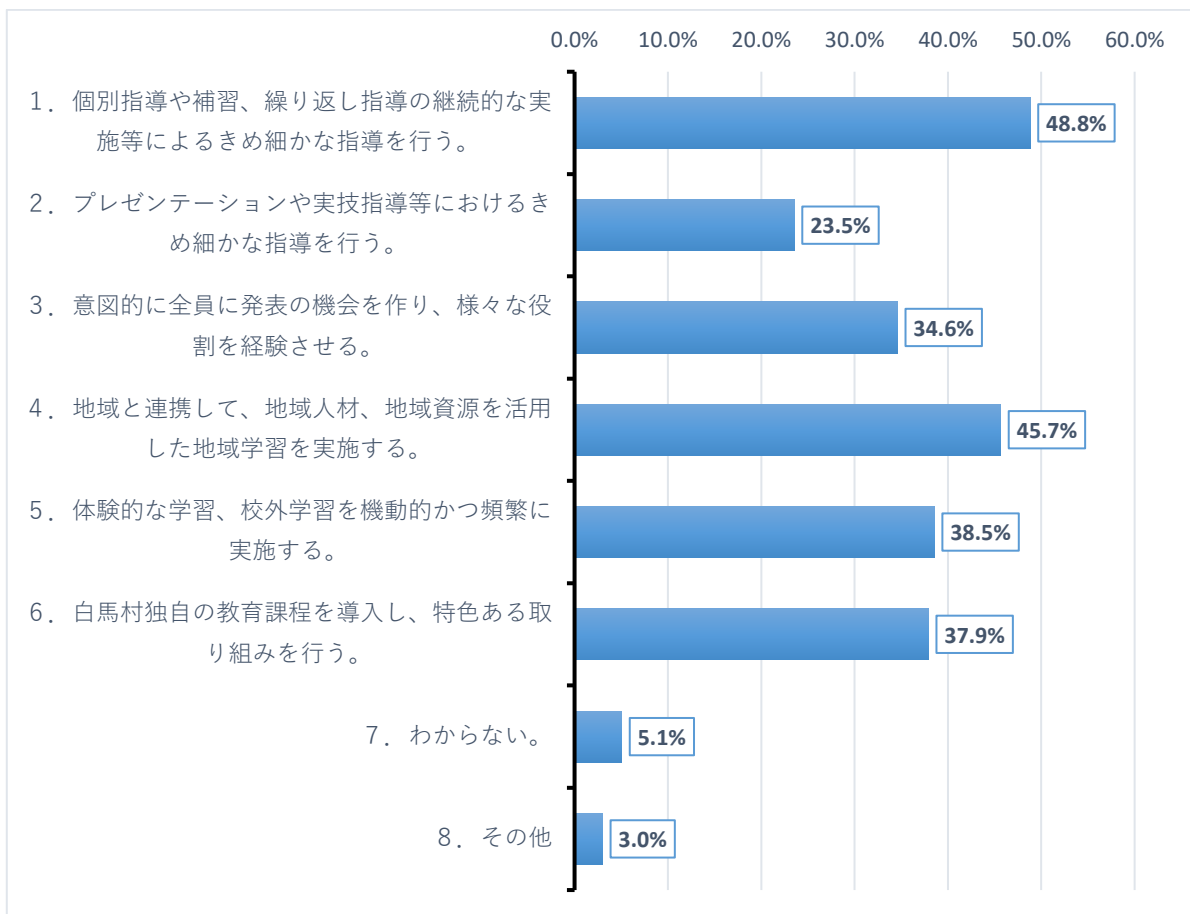
〈628件の回答〉



【問 15】白馬村の学校は3校とも、都市部に比べて少人数でクラス数が少なく、施設の規模が小さい学校です。このような学校規模が小さいことをメリットとして生かすために、村としてどのような点を重視したら良いと思いますか。あなたの考えに最も当てはまるものを2つ選択してください。

「個別指導や補習、繰り返し指導の継続的な実施等によるきめ細かな指導を行う。」が48.8%と最も高く、次いで「地域と連携して、地域人材、地域資源を活用した地域学習を実施する。」が45.7%、「体験的な学習、校外学習を機動的かつ頻繁に実施する。」が38.5%、「白馬村独自の教育課程を導入し、特色ある取り組みを行う。」が37.9%で続く。

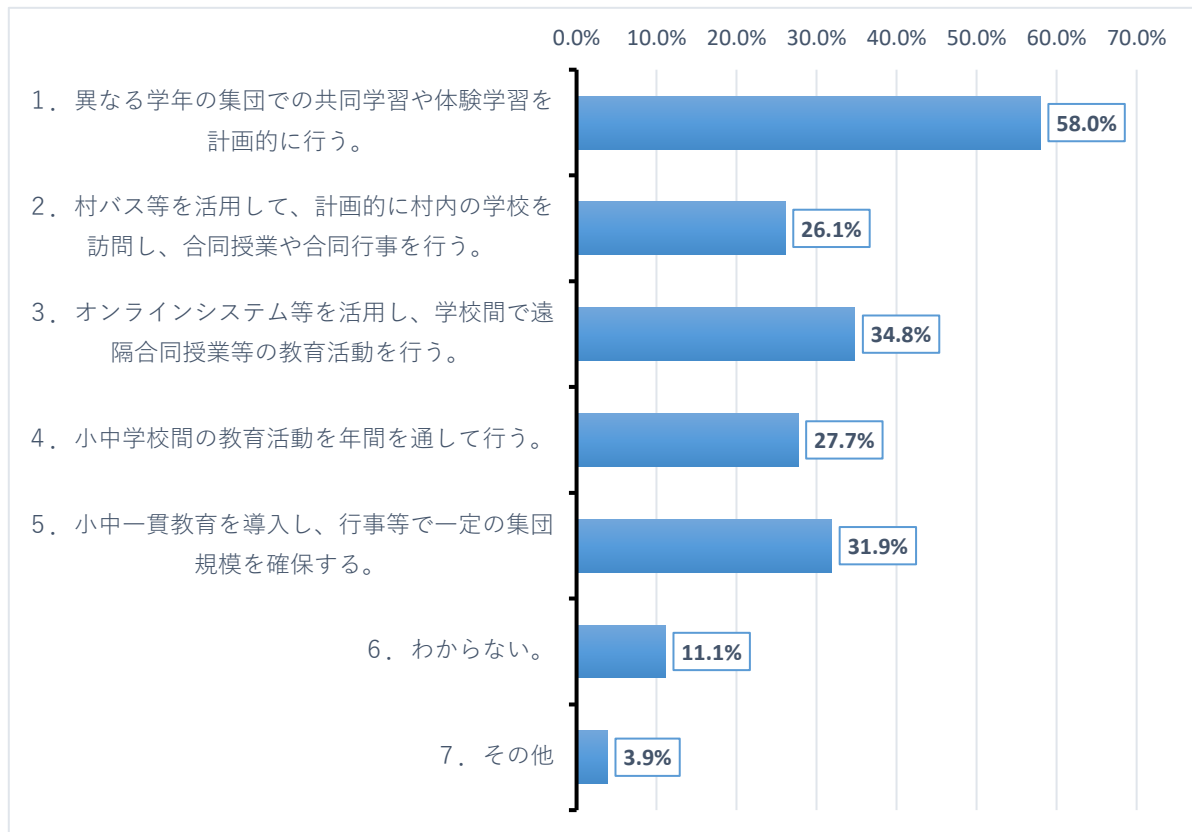
〈633件の回答〉



【問 16】 小さな村の学校規模が小さいことのデメリットを解消するために、取り組んだ方が良いと思うことについて、当てはまるものを選択してください。（3つまで選択可）

「異なる学年の集団での共同学習や体験学習を計画的に行う。」が58.0%と最も高く、次いで「オンラインシステム等を活用し、学校間で遠隔合同授業等の合同教育活動を行う。」が34.8%、「小中一貫教育を導入し、行事等で一定の集団規模を確保する。」が31.9%、「小中学校間の教育活動を年間を通して行う。」が27.7%と続く。

〈621 件の回答〉



【問 17】最後に、学校の教育環境等に関して、ご意見、ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

[通学について]

- ・ 昨今話題となっていますが、児童・生徒の安全に配慮した送迎と、通学路の確認をお願いしたいと思います。《30代》
- ・ 小中の通学は歩くことによって、友達と話したり、山、野の花、虫など観察したり、働く人々の暮らしを知ったり、体で四季の移り変わりを感じとる。又体力、心身を鍛え、社会生活に備える。遠方通学は子供をつかった以上又その土地で生活するなら責任をもって送迎すれば良い。血税をつかって行政が学費、給食費を払うことは村民に失礼だ。甘やかすな。通学は教育だ。学校まで歩くことによって頭、体に血液がまわりやすく勉強に入ることができる。《70代》
- ・ スクールバスの利用をお進めします。《90代》
- ・ スクールバスを出して欲しいです。《40代》《80代》
- ・ 多様な通学方法を取り入れてほしい。(通学距離に関わらず)《10代》
- ・ 白馬村、小中学校において生徒の減少につきましては、スクールバスの利用しかないと思います。小谷村はすでに行っております。《70代》
- ・ 保護者による送迎は、負担が大きいので、スクールバスでの送迎は必要だと思います。(特に冬場は、車を出すのもたいへんですし、家に高齢な家族がおられる方は2重の負担だと思います)子そだての負担を減らす学校作りを望みます。住み良い白馬村の実現のために、一校であれ、二校存続であれ、将来を見すえた学校作りが大切だと思います。《60代》
- ・ 子供達が通学で歩く事は、色々な経験や学びも沢山有るとは思いますが、近年の動物の出没を考えると、スクールバスでの通学に変えて行く時期なのかもと思います。《60代》
- ・ 近年の児童等に対する犯罪も多く、雪積や歩道の整備もなく、通学に多くの危険があると思います。冬期だけでもスクールバス及び集団登下校をすすめてもらいたい。《60代》
- ・ 特に小学校においては、子どもの安全を第一として、スクールバスを利用。《60代》
- ・ 時代の事でもあるが、小生の場合は約6km強を歩いて通った。冬は道路の除雪もまだなくラッセルをしながら学校に着いたら昼の事もあった。勧められることではないが耐えることを学べた気がする。《70代》
- ・ 通学について、自転車等でもしも交通事故にあう事を考慮しスクールバスでという願いです。又、中学生になりクラブ活動で遅くになり帰る時間帯を考へてなるべく複数で帰れる様にといい事件にまきこまれない事を願います。《80代》
- ・ 高齢者が多くなっていくので、スクールバスを誰もが乗れる、村内循環バスを希望します。《60代》
- ・ 冬のスキー場や飲食店を周るシャトルバスのように、朝・夕『誰でも』乗れ、通学・通勤等に使えるようにする。生徒以外は有料にすればよい。《50代》

[地域の特色を生かした教育]

- ・ 白馬の地域環境を活かして農業体験などふやしても良いかも。《30代》
- ・ 国際的な観光地にする為に子供の頃から英語教育をする。白馬村には外人が数何人が生活している。外人に英会話をお願いしたらどうか。これから英会話だ。《70代》

- ・国際化を目指す。給食費も親が払うのが当然。《40代》
- ・小学校ではスキー授業（アルペン、クロス、ジャンプ）、中学校では登山。白馬っ子らしく継続して欲しい！（体、強くなります。）《40代》
- ・なんでこんなことをと思える行事でも、今思えば、火のおこし方、クロススキーで根性つけたなとか、雨の中のスキー教室とか…東京マラソン、持久走とか…。働く中で、心を強くしてくれた学校行事だったとふり返れる。心を強くするのって大事だわ。そんな学校は、めったにないと思う。《10代》
- ・伝統的な冬の行事、スポーツは続けてほしい。「白馬村にずっといたい」「いつか戻ってきたい」と思えるような地域学習を取り入れてほしい。《10代》
- ・村と都会との教育内容には大きな開きがあります。高校へ行って教育の格差を痛切に感じると思います。小、中校では村のスキー、国際化等、都会では出来ない事を教育してはいかがでしょうか？《70代》
- ・スキー観光で発展してきた白馬村ですから、教育の中にスキー（クロス・アルペン・ジャンプ）は継続して残して行って欲しいです。《50代》
- ・せっかくの雪に恵まれた環境ですので、スキー、スノーボード等ウインタースポーツの選手の育成にもっと力を入れたらよいと思います。本人のやる気も必要ですが、村としての後押し（協力）も大切かと思えます。《40代》
- ・美しい自然の中で、のびのびと学んで欲しいです。《80代》
- ・スキー部が優遇されすぎて気に入らない。《30代》
- ・学業も大変大切。又、白馬村の特殊な自然を大切にしたいスキー競技等にも力を入れて欲しい。（地域を大切に雪を多に使ってふれて、白馬を大切にしたい。）《70代》
- ・子供達の教育を受ける環境を整備する事は、少子化に向う中、現在の村行政にとって、最大の課題であるとする。子供数に対応した学級編成等、地域性を考慮した教育課程を実現させる為の独自基準の作成が必要ではないかと思っている。《70代》
- ・オンラインシステム等、血の通わない教育は駄目。《70代》
- ・体力がおとろえている為、体力をつける教育もこれからは必要かと思えます。でも最後は学力かも知れません。《80代》
- ・せっかく特色のある白馬村で育つのであれば、自分の郷にほこりが持てるような教育や体験をさせてあげたい（スキー教室や山岳体験、それにかかわる人との交流等）。白馬村ということに関わらず、先生以外にも大人とふれ合い、じっくり関わる機会が多ければ多いほど、子供たちの将来が開けると思えます。《30代》
- ・アウトドアスポーツ等ができる環境なので、地域の企業に呼びかけ、そういった体験のできる機会を増やしてほしい。それにより、白馬の良さを知り、将来の仕事の選択肢になってくれたらいいと思います。結果的に地域が活性化すると思います。《30代》
- ・経済性や合理性を優先することなく、白馬独自の教育システムを構築し、しかも内にこもらないで、日本しいては世界に通用する子どもたちを育んで欲しい。《70代》
- ・地域性を活かす教育。白馬ならではの特色を出してほしい。《50代》
- ・小学校から英語を学ぶにあたり、AETなど地域の外国人や、英会話できる期会をもっと増やして欲しい。《80代》

- ・動植物を慈しむ心（情操教育等）を育んで行ける様な教育を期待しております。《60代》
- ・白馬ならではの自然を生かした教育を望みます。《60代》
- ・白馬の自然の中で育つ子どもたちは幸せだと思うし子どもたちにもそれを感じとってほしいです。地域人材、地域資源を活用した地域学習に力を入れてほしいです。《60代》
- ・生徒が体験し考え、自分の考えを人に言えることができる実戦力を養う。人口が少ないこと、自然環境といったデメリットを特徴としてとらえ、白馬村独自の教育プログラムを構築する。《50代》
- ・子供達が昔と違って少なく成っている中ですが、やっぱり白馬らしい教育をして白馬のために働く事の出来る子供達を育ててほしいと思います。《70代》

[教育に望むこと]

- ・今は進学より、仕事につながるような学習が必要。資格社会。社会とのつながりを小さい頃から行って、白馬に居ながらも外部と仕事ができたりを目指さないと、更に人口も減る。仕事や、1つの事に関して掘り下げていく教育が必要。《50代》
- ・自然環境を生かし、元気に体を動かし、いっぱい遊ぶ。勉強が出来るだけが、人生でそんなに重要な事だとは思わない。丈夫な体に健全な精神が宿ると思う。《70代》
- ・地球にやさしいe c oを重視した人間作りに努力してほしいと思います。挨拶の出来る打てば響く人間作り！！《60代》
- ・伝統は伝統として、その大切さや意義を理解出来る教育を行う事は重要だが、そこにとらわれすぎず、今の時代・これからの時代の多様性や人権意識、ひとりひとりが自分の考えを持つ事の大切さ、ひいては政治参加の重要性につながる教育を。《60代》
- ・落ちこぼれと言われる子供を作くらない。決め細やかな学校教育が大事だと思います。《60代》
- ・社会に出てはすかしくない教育をすることが大切だと思います。《20代》
- ・おおいに勉強し、たくさん運動をさせ、元気に大きくして下さい。《40代》
- ・これまでの歴史を大事にするあまり、今までやってきたものは絶対存続という考え方はどうかと思います。今の時代に合った行事だけ残し、みんなが参加できる楽しい学校にしてほしいと思います。《70代》
- ・効率を重視すると教育にゆとりがなくなり荒廃する。子ども・生徒が、落ち着いた雰囲気や清潔な環境の中で育つと学力は自然と身についていく。《70代》
- ・白馬村に戻って来たいような、施設・環境を準備出来たら良いと思う。《60代》
- ・村の子どもたちの様々な可能性を伸ばせる、引き出せる学校教育の存続を願います。
《40代》
- ・今後、得に心配になるのは、児童と地域の繋がりと感じます。児童をひとりにさせない環境を望みます。《60代》
- ・時代・ニーズにあったフレキシブルなものであれば良いと考えます。《50代》
- ・自分の生まれ育った地域を自慢できる学校教育・自分も他人も認め合える学校教育・自然や生命の尊厳を考えられる学校教育を・知識も必要でしょうけれど、小学校が人格の形成の最善の場所であってほしいと思います。様々な環境や社会の変化の中で、助け合って生きていける人間性が常に問われる社会に出るために。《50代》

[存続・統合・小中一貫]

- ・安直な、費用面だけを重視した統合は反対です。《60代》
- ・白馬南小は存続が良いと思う。《60代》
- ・規模を縮小しても3校は維持するべき。村内の既存の施設を利用し、合同教育活動を増やす。40年前私共が移住した理由の多くは、村内に、南・北小、中、高校がそろっていることでした。《70代》
- ・少子化により統合も仕方がないが神城小学校の方が早くから佐野学校から始まっている事等考慮し、歴史として残して頂きたい。《80代》
- ・私自身の経験から、小学校は白馬(村)小学校一校にして、南小はその分校とする形が理想です。入学式、卒業式などの大きい行事は本校(北小)に集って皆で行う形です。通学も教育の一場面。子ども達が自分の足で歩くことに意義があります。《50代》
- ・南・北小学校の統合は避けられないと思う。《30代》
- ・小学校は1校でよい。《70代》
- ・小学校は2校統一(中学校の近くに建てる)。《40代》
- ・統合した小学校も、中学校と同じ敷地へ。《60代》
- ・小学校の統合はいたしかたないと感じます。ある程度の人数が各学級には必要。子供の社会性を育くむ為にも。《50代》
- ・一校に統合して巾広い厚い指導を進めてほしい。《60代》
- ・いずれは統合しなくは(小学校)ならないので早く計画を進めた方がよいと思います。《70代》
- ・この際問題の根底にあるであろう北城・神城のエリア意識を排除し「村は一体となって」の原則を徹底し立脚すべきだと思う。《70代》
- ・小学校の統合は、ここ数年のうちにしていけない問題だと思います。《60代》
- ・生徒数も減り、施設の老朽化が進み、早急に統合すべき。教育委員会はもっと積極的に議論をして進めてはどうか。《70代》
- ・十数年前からわかっていた問題。今だにまだこんな議論をしているのですか?《60代》
- ・今後の児童数は確実に減少すると想定されます。3校の施設の老朽化も進み費用も加速されます。そこで、施設隣接型小中統合で長期的に考えて新設を望みます。《70代》
- ・南小の良さはあると思うが、1校に統合してその分の予算で村営バス等を走らせてほしい。《50代》
- ・南小と北小を統合し、基本徒歩として他はきちんとスクールバスの運行してほしい。《60代》
- ・小学校統合の最重要課題は通学手段の確保だと思う。現在でも保護者の送迎に頼る状況であり、公共交通手段、スクールバスの整備が必要と思います。《60代》
- ・少子化が進んでいるので、白馬中学校の北側の空地に南北の小学校を統合してスクルーバスで通学する白馬小学校を作ったら、どうでしょうか。《70代》
- ・以前より一つの学校で校庭に芝生があり、設備の充実した学校、スクールバスで登下校をサポートすれば良いのにと感じていました。多様化するこのスピードに遅れることなく、子供たちにはたくましく育ててほしいと思います。《50代》

- ・小学校は統合の方向で、通学や学校生活における子供たちの負担軽減策について、検討をお願いしたい。《50代》
- ・統合には様々な問題が生じてくると思いますが、通学の問題がいちばん大きいのではないのでしょうか。《50代》
- ・生徒数が減少すれば、小学校統合はしかたがないが、通学についてはスクールバスを使い、通学の不便をなくして欲しい。《90代》
- ・個人的にはもっと早く小学校は統合すべきだと思っていました。昔と違い、子供の数も減っているのに…他市町でもどんどん統合しているのに、とても遅いと思います。その経費も大きいと思いますし、学校維持費より、スクールバスを出す方が経費もかからないと思いますが…。以前子供達の話の中で、南小は人数が少ないので、保育園の頃から子供の中で縦社会ができて小学校も1クラスしかないので、ずっと強い子は強く、弱い子はずっといじめられるから早く中学になりたかった…という話も聞きました。小学校を1校にできたら、給食センターの配送車も1台ですむと思いますし全体で2クラスくらいであれば食缶なども必要なくなると思いますので、色んなみで、統合していただきたい。《50代》
- ・新校舎、場所については、北小・南小の中間地点が望ましい。特に冬季の通学は、徒歩にしても親の送迎にしても負担が大きいと思う。夏季も含めて、遠方の生徒にはスクールバスを出すなど、それぞれの負担を減らせれば尚良いと思う。移住してくる人も子供の通学問題は大きいと思う。《50代》
- ・グリーンスポーツあたりに小学校をつくり、現在の2校は売却し新校建設予算に充てる。北小なんかは高く売れるかも。《50代》
- ・耐用年数を超えてしまう前に決論を出し、可能ならば村の中央に新設する事がいいのかなと思いました。《20代》
- ・少子化は止むをえず…中学に隣接も可能では。《60代》
- ・早急に統合すべきと考えます。南小学校が閉校するのはやむを得ませんが、北小に統合されるのではなく、白馬中学もしくは中間地点に新しい学校を建設し、統合（新校）として欲しいです。《60代》
- ・もし小学校が統合するなら神城と北城の真ん中にしてほしい。《50代》
- ・もし、新しい学校施設をつくるようになったら深空あたりが良いと思います。白馬村の真ん中あたりなので北城・神城に住んでいる人が通学するのに平等だと思います。《40代》
- ・生徒のみなさんの意見はどうなのでしょう？・統合となった場合、赤字路線である大糸線の活用も考えられたらいかがでしょうか？《60代》
- ・子どもの人数が減り続けていく中、統合も視野に入れた教育環境の整備は仕方ないかと思いますが。統合してほしくない気持ちもありますが、子どもたちのためにはどちらがいいのか、必要なことではしょうがないといった考えです。小学校はどちらも古いので、きれいで新しい校舎を大切にしていってもらうためにも建て替えは必要だと思います。統合となった場合はできるだけ通学に支障のないよう南北の中間あたりにしてもらえるとありがたいです。
《30代》
- ・もし、村内の小中1校となれば、不登校の子や要支援、学習についていけない子が、たくさんの種類の支援を受けられるようになるなら良いと思う。進学の手助けとか…。生徒の減少は止

められないので、子育てに困っている家族に手を差し伸べて欲しい。《40代》

- ・小学校の統合は、やむを得ない事だと思いますが、新しい学校施設の内容や建設場所等を早くから地域住民に知らせ、丁寧な説明が必要だと思います。白馬のシンボルになるような、子どもたちが毎日楽しく通える学校になる事を切に願います。《20代》
- ・地域の学校がなくなると、過疎化がいよいよすすむ。地域全体の衰退がすすむ。地域を守る場合、他のどの施設よりも学校が最後の砦となる。《90代》
- ・コスト面、授業の効率やサポートの充実、いろんな地区の子が集まることによる多様性への耐性などの点で統合がよいと思います。ただ通学の距離が増えて児童や保護者の負担が増える点と、観光客の車（細い道）、トラック（国道、県道）による通学中の危険性の二点が心配ではあります。《40代》
- ・この際統合して頂きより一層の教育の向上を願いたい。現在の50～60才の親達の育った時代は、なに不自由のない生活をして来ている人達です。その子供の小・中学生でありますので、世中のすべてのことが無知だと思っていますので、これから世中に出す子供達ですので、全ての教育で成人になります様願います。《80代》
- ・児童・生徒数の人口減少、施設の状況等の事由で現況の変化が生じるのはやむをえないかもしれませんが、継続する力と守る力を大切に考え、時代の変化、整備等は先見を見落とすことなくするべきだと思う。何より大切な事は健全なる環境で、きちんと義務教育を受ける事の出来る事を望みます。《20代》
- ・小学校2校統合あるいは中学までの一貫（全て統合）しても、マンモス校になるわけではないことから、統合して施設の充実とハードの維持等コストを下げた上で、その分ソフト（教育環境や人材、ICT等）に活用し、地域と一体となった未来の人材育成の場として、十分な投資をしたらよいと思う。《50代》
- ・できれば現状の、小学校2校と中学校1校で続けてほしいと思いますが（徒歩通学できるから）、1クラス10人以下というのも、ちょっと少なすぎるとも思います。どうしたらいいでしょう？教育環境も、30年前くらいに子育てしていたころとは、ずいぶん変わりました。私としては、どんな時代でも、楽しい子供時代をすべての子ども達に過ごしてほしいと思っています。良い成績より良い性格の子が白馬にはいっぱいいてほしいと思います。《60代》
- ・小学校建て替までは北小へ南小児どうを一所に授業を行う。子供の数が現ざい少ない為又さらに少人数となる為、小学校は南北1校とした方が良い。（新しく建て替た時も同じく1校とす。（生徒数が少ないから。））図書館も学校と連らなって建てられたら良いと思う（この場合中学でも良いと思う）。《80代》
- ・今の学校がなくなってしまうのはさびしいが、維持することが負担になり、極端に少ない児童数になるなら、統合した方が良いと思う。《30代》
- ・子ども二人を南小・中学で学ばせてもらいました。特に南小は、小さい学校ならではの良さがたくさんあったと思います。さまざまな行事、活動の中で、子どもだけではなく、親の私もたくさん楽しませてもらいました。運動会、スキー大会（クロス・アルペン）などなど。資料を読み、きびしい現状だと思いました。でも、地域、保護者と連携して積み上げてきた良さを大切にしてもらいたいと感じます。《60代》
- ・年々少子化になってゆくのは仕方ないので統合を考え、学校にかかる経費をへらし、学級人数

を増やし、学業に対する意欲を向上させてほしい。少数の友達学級も良いが、将来をみた時、”やる気”をもった人に成長してほしいので学校の体制も都会に負けないぞ！という強さがほしい。《60代》

- ・家庭内でも少子化、核家族化が進んでいると思いますので、小中一貫で上下との関係も学び「白馬の子」だという自身を持って社会に出られる子供たちを育んで頂きたいです。

《80代》

- ・南小学校については、白馬村ハザードマップに示されているとおり土砂災害危険区域に建てられており、地区においても避難場所として体育館やグラウンドを使えない状況にある。現白馬中学校付近など、早急に安全な場所に移転させる必要性が認められる。《70代》
- ・京都の方でもたてのかかわりをたいせつにしています。昔の方がもっとたて社会があったように思います。小中一貫教育を導入して、たて社会の勉強をするのもよいと思います。

《80代》

- ・小中学校を1校づくり、プールや体育館も新しくづくり、つかいやすいものにする。

《40代》

- ・中学校を含めて三校を統合。《60代》
- ・小中一貫は反対。小学校統合には賛成。小学校は小学校、中学校は中学校の教育・指導をして欲しい。《50代》
- ・小中高を一貫教育とすることもご検討されてはどうか？《50代》
- ・小中一貫校がよいと思うが少なくとも小学校は1校とした方がよいと思います。《80代》
- ・スクールバス等の要望がある事から、小中一貫校を目標に検討して下さい。《70代》
- ・小中同じ校舎にしてパーティーしよう！《20代》
- ・現在の（小2、中）3校体制を一元化して、校舎なども小中合体したスタイルを提案します。但し、スクールバスが必要です。授業内容によっては、年令の上下を度外視した教室も考えられます。要は、旧来の「型に嵌まらない」ことが肝要。教育委員会の頭脳を若返らせて下さい。《80代》
- ・小中統合＋図書館等総合的な文化施設を併設する。《70代》
- ・今後、少子化が加速することを想定し、小学校・中学校の統合を希望します。（今後、小さな町村では、そうする所が増えるはずです。）白馬村も、小学校・中学校をまとめて1校にし、新しくキレイな校舎を建ててほしいです。場所は、中間というよりは居住人口の多いエリアに建てるのが良いと思います。通学の距離が問題になるので、小学生はスクールバス、中学生は自転車通学できるよう、整えてほしい。校舎建物の維持、教員人数、学校行事や部活動の充実等、1校にする（人数をまとめる）ことはメリットしかないと考えます。人口が少ないからこそ、ひとつにまとまり、活気を取り戻してほしい。そしてキレイな校舎にすることにより、教育に力を入れているアピールにもなると思うので、子育て世代が移住したいと思えるような白馬村にしてほしいです。新校舎にする際には、図書館を別館で建て、キレイで広い図書館を村民誰でも利用できるよう、子育て世代以外にもメリットがあるようにしてほしい。村全体で子どもを見守っていけるしくみを作ってほしい。《30代》
- ・近い将来、小中一貫校を考えると来ると思います。《80代》
- ・子供の声が村の中から消えてしまった。コロナの感染で大切なものがぐらぐらし始めたよう

な、今ここでしっかりしないと自分に言いかけさせるような気がしています。中高一貫のことで
辛い思いをした事があるので、小中高と節目はきちんとしてあった方が良くと思います。

《80代》

[少子化対策について]

- ・少子化対策は国を上げての問題だと思しますので、村全体で知覚を出し財政支援ですみやかに実施するようにお願いします。《80代》
- ・子供増やす方々を村として考がえて行かなければいけないと思う。《90代》
- ・悩ましいアンケートでした。小中学生が少ないのは村民が少ないからで、いかに村民を増していくか、又、小・中学生にかからわず、村の子供たちが安心して産れ、子ども達に対するいろいろな手当が、十分にいき届けば、白馬村に住めば、いい子育てができる、思ってもらえるような政策を考えてもらいたい。ここがとても重要じゃないかな？と思います。まず村民、特に若い方々を増やしていきましょう。《70代》
- ・根本的に考え方を考える。児童数を増加するにはどうすれば良いか考える。例 ・働く所を増やす…大町ではサントリー→水資源、白馬ではアサヒの会社による水資源の利用など。・福祉施設の増加→国の補助が出ると思う。・小学生、中学生の学校費用の無料化（修学旅行も無料化）。・児童に、村から収入により0才から5万円～10万円の補助（月ごと）。子供が増えると村の収入もゆくゆくは増加する。例 ・空き屋の活用、子育て世帯移住者には（無料化）安くする。《70代》
- ・少子化や学校施設の老朽化の問題と併せて、白馬村で安心して子どもを産んで育てる環境を充実させてほしい。例えば、0歳児から土・日も預けられる託児所の新設など。子育てがしやすい白馬村にしてほしい。《40代》
- ・少子化で学校がどう変わっていくのか！！《80代》
- ・現在の少子化等の問題について、各学校の保護者、関係者の皆様で十分話し合い（意見交換？）をして頂ければ良いと思います。・観光の面ばかりに目を向けず、教育、文化面についてもしっかりと議論し、方向性を示して欲しいと思います。《60代》
- ・学校うんぬんよりも、若者が移住してくるような白馬にする必要がある。小中高高齢化が問題。たてわり行政では無理です。《50代》
- ・子供が少ないという事は、大変です。行政には、未来の為、小中高増やす政策をとってほしい。《60代》
- ・後期高齢者の増加によりシニア・シェアハウスを建ててほしい。ひとり暮らし・二人暮らしがふえている。大きな家は他の目的で使用に。・村内30代以上の男女が独身でおおぜいいます。この方達をマッチングしてカップルをつくって人工増にしてほしい。仲人不足。・治山治水。白馬村の山、散髪してほしい。誰も手をかけていないので、きれいな山にしてほしい。もう獣もでてこないでしょう。・次世代が帰ってこれない世の中ではこまります。人工減少。《未記入》
- ・人口（生徒）の増えるのが先決問題です。よろしくお願いします。《80代》

[教員や人材について]

- ・大・小にかかわらず、ひとりひとりを大切に教育をすすめてもらえればよい。それぞれをしっかりと見てもらえれば、子どもは伸びていきます。先生と子どもの相性もあるので、クラス

替え、担任がえも必要。ゆったりした、しかも変化ある学校を望みます。大事なことは、教師の資質と親のコミュニケーション。信頼関係。先生方に学校以外の社会体験をしてほしい。これは大切なこと。《60代》

- レベルのひくい教員を集めないように。人事を良く考えるように。《70代》
- 大人からみてのメリットではなく、子供たちからみたメリットで判断をしっかりしてほしいです。また、施設の問題も大きいところではありますが、子供たちを教える教員の質も、大切ではないかと思います。《40代》
- 大切なのは教員の時間的、精神的ゆとり。地域とともに子ども達を育てるという考え方と環境だと思えます。「子どもが主人公」を根っこにすえて。《70代》
- 今回のアンケートにあった学校像や学級のあり方についてはもちろんのこと、教員の質をどう確保していくかについても、ご検討いただければと思います。《50代》
- 教員の質の向上。《60代》
- 教員の人数が足らなければ増やすなど、観光以外にも教育に村の予算を充てて欲しい。《60代》
- 教員にも余裕のある環境づくりが必要かと。それによって教育・指導にも余裕をもてるという好循環であってほしい。《未記入》
- 管理職員、専科教員が複数校を担当し、人員の削減は可能でしょうか？児童生徒数にあった、小さな学校施設にすることは可能でしょうか？《60代》
- 地域に居住している専門的知識や経験のある人材を村費を使って活用する。課外活動の指導者（教員以外）の人材確保。《60代》
- 学習障害やADHDに理解のある指導者・有識者を増やして欲しいです。《50代》
- 地域にあるモノや設備、人を活用することでコストを抑制する。• 外部の意見、人材を活用する。《50代》

[総合的ビジョン]

- 新しい学校施設、教育環境を考える上で、小学校・中学校だけでなく他の教育関連施設（学童保育、図書館）さらには他の福祉機関との連携、施設の統合／共存というのも視野に入れ、村全体の少子高齢化問題への解決策、地域住民間の交流の促進を目指していく、というのも一つのやり方ではないかと思えます。近年の白馬高での新たな取り組み（観光、SDGsなど）、インターナショナルスクール開校等、国際的な観光地だからこその強み、特色を活かした教育機会が小・中学校にも広まっていくことを期待します。《20代》
- 人口を一定に維持することが重要であり、減った時のことだけで今後を考えても意地は難しいと思う。また、白馬のような田舎での環境は変化に乏しく、白馬の特色を生かした独自の教育よりも外の世界を体験して自ら白馬の良さを発見できるような人材の育成を目指した方が良いと思う。コミュカの育成をネットだけで考えず、オフミなどを積極的に行って人と人が出会う方が育成には重要ではないか考える。《50代》
- 優先順位：1. どのように子供達を育成したいのか。2. だからこのような環境（存続・統合）が必要。3. それに対して予算がどのくらい必要なのか。《50代》
- 小規模校のメリットがデメリットより多い様に思います。ぜひ子供達のがびのび育つ環境を守っていただけたらと思います。どうしても統合なら小中一貫校を導入するのもいいかと思いま

す。《70代》

- ・小学校は歩いて行ける場所にあり、村民と子どもたちの交流など図れたら良い。自然が豊かな村ならではの取り組みを増し、その中で生きる力を（例：火をおこし、木を拾って、食事を作ってみる。野菜を育て、加工もしたりして、販売してみる。）。学校だけの施設ではなく、老人のデイサービスセンターと併設したりするのもおもしろいかも。《60代》
- ・子供たちが大人になってから、村の財政が今より苦しくなる様な建設や計画にはしないでほしい。多様な人が暮らしているのは良い特徴だととらえているが、家庭の経済格差によって教育格差が大きくなっていかないか心配しています。近隣地域に比べ、子育てへの支援が手薄に感じる事も多く、転居も考えざるおえないのは、悲しい事と思っています。《30代》
- ・白馬村には、古からの住民以外にも、外国人の方や、都市部からの移住者も多い。「The学校」的な学校ではなく、オルタナティブスクールのような学校になったらいいと思う。そうすれば教育移住も増え、適度な小規模学校が維持できるのではないかと思います。《40代》
- ・高校進学及び通学に係る支援も考える必要がある。（通学補助など）・インターナショナルスクール的な考え方も導入し、広域的に対応していく。《60代》
- ・人口が少なくなれば、今までのようなインフラを維持することはできません。また、この先人口が増加に転じることもありません（移民を大量に受け入れない限り）このことをよく意識して、前例や過去の成功体験にとらわれない、柔軟な判断を期待します。《30代》
- ・小・中のみならず、白馬高校も視野に入れた方針を計画して頂きたい。小谷中も白馬中も、白馬高校への進学率があまりにも少ない。小中学教育を通して、もっと地元高校への進学を希望するような取り組み方も考えて頂きたい。もちろん、そのためには白馬高校の魅力アップも必要不可欠ですが！！《60代》

[学校規模・学級編成]

- ・「多様性」を学べる学校教育。いろいろな人間と関われる教育環境。そのためには、小人数すぎるクラス編成は小さな社会が生まれてしまうのであまり望ましくないと思います。

《50代》
- ・クラス単位の授業・動きを出来るだけ少なくし、固定された人間関係にならないようにすべきと思う。単位制・飛び級もありかと。《60代》
- ・生徒数が減少の一途をたどっている中、クラス数と1クラスの人数は多くはできないことが明白であるのに、多いクラス数とクラスの人数が少なくなるのがわかっているのに、この質問内容でよいのでしょうか。《60代》
- ・1学級あたり20人以下は、利点よりマイナス面の方が大きい。合同授業や合同行事は、実際の運営がむづかしく、手間がかかる。ムダな時間になることが多い。《90代》
- ・コロナ禍で少人数学級が望まれているので、小規模校・少人数学級である事はとてもメリットだと思う。この事は、移住促進としてもメリットになると思う。教育環境には、人の投資が大事だと思います。教員不足が言われている中、人への投資をお願いします。雪の多い白馬は、通勤などで敬遠されます。その部分の解消もお願いします。白馬には、まだまだすばらしい自然が残っています。自然を愛する心、大切に作る心、活かす心をもった人材を育てて欲しいです。それには、人です。《50代》
- ・長野県や都市部の学級の基準人数は決して適正とは思えず、少人数学級で行き届いた教育に努

めて頂きたい。《60代》

- 支援学級の充実・地域の中で、障害を持っている子供達が堂々と生きて行ける学校づくり、村づくりをしていくために、共に学びあう場があれば良いと思います。《60代》
- 私の勤務していた学校の児童数は、大阪市でもマンモス校で3300人を越えていたので、小人数クラス25人と50人の各クラスにわけ実験しましたが、50人学級の児童の能力の方がすぐれて向上しました。更に能力別に編成したり、生徒の生まれ月によりクラスを分けた結果も出しましたが、混合クラスの方が伸びが大でした。白馬村の教育についても、いろいろ思うことがあります。これからの国づくりをになう子ども達の将来をみんなが真剣に考えて行かねばと思います。《80代》
- 大規模校の弊害を経験したものとしては、小規模校は理想の学校です。世界的に見て、少子時代の到来はチャンスと捉え日本の教育の転換期にしてほしいです。量より質の時代です。頭の切替えが必要です。他地域と同じにと考えないで、白馬ならではの教育を考え、他地域から羨ましがられる教育の有り方を目指してほしいです。《70代》

[施設について]

- 歴史を踏まえ、南小裏山スキー場はとても大事であり、全国的にも珍らしく、活用を望みます。《20代》
- 少数学級での給食はとてもさみしく味気ないと思うので、大食堂方式で食べられるような施設にしたらどうか。《60代》
- 運動グラウンドが白馬中、北小もちいさくて陸上の100mがとれないと聞いています。もっと広く出来れば良いと思う。スキーだけでなく他の競技の選手も生まれる素養はあると思う。そして、親の送迎も考えて駐車場が広ければ良いと思います。《70代》
- 子育てができる医療費や子育て世帯の誘致。働く場所、住まいを整え、白馬村は住みやすい所とアピールし、少子化を改善できればと思う。《50代》
- 下校時や北小行事の祭役場駐車場が大変混雑して役場に用事で行っても駐車できなく駐車場をさがして車が行き来して大変危険なので対策をしてほしい。保護者用駐車場を空き地等利用して他に作ってほしいです。《60代》
- 読書関係の設備、図書の充実を望みます。私の小学校・中学校での思い出はあまりいいものではなく、いじめや教師の体罰などのなやまされてきました。その様な中、学校の図書室や地域の図書館は逃げ場であり、よい本との出会いの場でした。よって図書関係の施設の充実を望みます。《40代》
- 校舎の老朽化で安全性が損われるのであれば大きな問題ですが、田舎らしい古き良き校舎のスタイル（デザイン）も残してほしいなと思います。都市部の学校を参考にするだけでなく、教育や福祉についてとても進んでいるフィンランドなど欧州の田舎の学校の取組みなども参考にするのはいかがでしょうか。《40代》
- 北小跡地を図書館（複合施設）にすれば良いと思うのですが。《50代》
- 北小と南小の統合した新しい学校建設が良いのかわからない。横に長い村、位置的には、今の学校の位置は悪くないと思う。教育環境的に、現在の子供達の学校の様子はわからないが、マスクをして歩いている姿を見ると、かわいそうに思える。顔の表情がわからず、大人になってからのコミュニケーション等、健康への伴害がおきそうです。《50代》

- ・ 老朽化が進んでいる状況。できるだけ早く、子ども達が安全な環境で生活できるよう計画を進めて頂きたい。よろしくお願ひ致します。《60代》
- ・ 近所にも子供はみえません。子供達も学校施設に行かないと同年代と会えないと思う。楽しく行きたくなるような施設になれば良いと思います。《70代》
- ・ 最近、部活に入らず早く帰宅して SNS やゲームに多くの時間を費やす子が多いと聞きます。それもその子の選択だから仕方ありませんが、これから増々運動部や吹奏楽部といった、しっかり活動をする部活に入る子が減るのではと思うと残念に思います。だからこそ、スキー部を始め、部活動をがんばる子を心から応援したいです。スキー部の活動にはケガがつきものようです。毎年のように学校で、ケガのため階段で苦勞している子がいると聞きます。小谷中や大町の2校のようにエレベーターをつけてあげてはどうでしょうか。《60代》
- ・ 安全で安心できる学校施設で、毎日が楽しくなるような教育環境で伸びのびと過ごし、未来への希望や夢が大きく膨らむ子供に育ててほしいと思います。《50代》
- ・ ジャンプ台や裏山は残して欲しいです。《10代》
- ・ 建設するための設計を中学校のような雪国に合わない天窓を作るなどして高額な費用を使うのに無駄なことを絶対しないでほしい。(雪を知らない人に設計を頼まない。)《60代》
- ・ 水・岩石・樹木による自然環境と広い運動場、落ち着ける図書館、学年を越えてくつろげる空間などあればよいと思う。《80代》

[その他]

- ・ 今回このアンケート調査の資料を見て、子供達がこんなに少なくなっているのかと驚きました。これからの白馬村を考える上で、若い人たちが生活しやすく、他県からも移住・定着してもらえ『魅力ある白馬』を村民の一人として考え、協力して行く必要性を改めて思い知らされました。《50代》
- ・ 小中学生、PTAの方々の意見、考えを優先して下さい。《60代》
- ・ 少子化、老朽化、村内の活性化、できる事から！大変ですね。白馬村の活性を祈ります。
《70代》
- ・ 施設の老朽化と少子化の中、大切な問題と思います。未来へ向けてよりよい方向性をとっていただきたいと思います。《60代》
- ・ 親があまり介入せず子供が考えて行動できる環境作りが大切。親が口を出しすぎるのは子供の成長に影響をおよぼしすぎるのでは。白馬村は他県からの住民が多く、それぞれの考え方がありますが主張が強すぎる方がいるので、どうか子供自身が考えて行動ができる学校ができればと思います。もちろん学校での様子は親に知る権利は大事ですが。《30代》
- ・ 内容を見る限り、教育委員会目線の内容ばかり。本気で改革を進める気があるのか、疑わしい。こう言った内容は、生徒達に聞くべき。その年令なりの答えが出ると考える。その内容を汲みとり、検討するのが大人の仕事。大人の都合や、勝手な判断で、子供達の未来を閉ざしてはならない。《50代》
- ・ 跡地利用について、産業を持ってくるとかエネルギー。太陽光発電。冬の雪が問題ですね。
《70代》
- ・ 子供優先の教育を行って下さい。《40代》
- ・ 小規模校の良さを最大限引き出し、学校に行けない子がない、目の行き届く場所であるよう望

みます。《60代》

- 学校で生活する子供達は、どうしても家と学校の往復になってしまいます。そのため、少しでも学校が心地の良い居場所であることが求められます。村民として、ご協力できることがあれば力になりますので、子供達が穏やかに生活できるように教育環境の整備をよろしくお願いします。《10代》
- 子供がいないので考えた事がなかった。《30代》
アンケート内容がバラバラで何を望んでいるかわからない。メリットもデメリットも当然あると思う。白馬の子供達が白馬の財産である！！《70代》
- 20年前白馬に来た時、別荘区域ですので、子供の声を聞くことは無かったですが、今は家の回りに新しく3軒の家族が居らっしゃいます。9人のかわいい、元気な声が聞けて嬉しいです。学校の帰りに庭にいと、こんにちは、と声をかけて下さいます。私も嬉しく元気になります。学校の近くの人たちは、幸せだと思います。《80代》
- 児童・生徒が安全で安心な学校生活ができることが大切だと思います（通学時も含め）。児童・生徒の話をよく聞いて取り組んでいただきたいと思います。《60代》
- 我が家は小中高校生がいません。現状も問題点もわかりませんので、このアンケートの意図することも…???子どもの人数がかなり減少していること、学校の維持管理など大変なことは良くわかりました。《未記入》
- 小中学校の実情が分からず、申し訳ありません。でも、私達60年、70年前の小中学校は遠くて大変でした。学習にしても、先輩の教課書をお下がり勉強しました。何事も、この現代の便利のよさで、通学もバスで勉強して行って欲しい！！新しい白馬を！！《70代》
- 学校の主役は子供たちです。優先順位をまちがえないようにお願いします。《50代》
- 育った時代を考えるとむづかしい質問でした。働く事が主体であったし、家族と一諸に生きる力を養ったように思うが、今、そのようなことから離れている感がありますので。《80代》
- 本当のところは、判らない方多いと思います。《80代》
- 学校の新築を計画しているのかどうかわかりかねますが、たとえば南小学校は木造で（のように外から見えます）とても味わいがあり、昭和かそれ以前の趣きがあり暖かく感じます。反面、白い校舎は病院のようで、冷たく行きたい場には程遠い感じがします。また教育環境と言う点では、「今」を考えるのではなく、10年20年後にここで学んだ子どもたちにどうあって欲しいか…という視点で考えていってほしいと思います。今の子どもたちが大人になる頃には、現在ある職業の60%はなくなる、家や車が買えなくなる等とされています。先生と黒板、同級生の後姿しか見れない教室で学んだ子どもたちが、そんな厳しい時代を生き抜く力を蓄えられるとは思えません。小谷村は小学校・中学校とも統廃合しました。その結果過疎化は止まりません。大町市は全く同じ轍を踏もうとしています。過去の事例から学んでないと思います。木崎夏期大学で、昨年・今年と講義をされた佐藤学東京大学名誉教授は、アクティブラーニングで子どもたちの力を発揮させることが、世界の主流になりつつあると言っておられました。その場合の学校の適正サイズは、校長が全生徒を見ることが出来る150人。それが最大人数だと…。そういったこともふまえて慎重になってほしい。鉄道もそうですが、一度失うと二度と戻ってこないと思います。先祖を敬い、墓を守っていく子どもたちを育てて欲しい。お願いいたします。《60代》

- 本アンケートを実施することにより、本結果発表と実際にとり入れその内容を発表すること。

《60代》

- 実際に子供さんを通わせる若い親御さんの意見を大事にして御検討下さい。《90代》
- 新型コロナウイルスの影響もあるようですが、不登校も増えているとの事、いじめ、自殺、犯罪など私たちの世代に比べても色々な事がおきています。都会にはない白馬のすばらしい環境で育つ子供たちはうらやましいと思います。学習でもスポーツでも世界に出ていける子が育つように、心が広くたくましく大人になっても困難を乗り越えていけるように教育も頑張ってもらいたいです。《60代》
- 私達は県外から移住してきた者ですが、地元の方々の暖かい心に励まされ心豊かな人生を歩んで来ました。今後もこの心を受けついでくれる子供達が育ってくれる事を願っていますし、皆様方の御努力に期待しております。《70代》
- 年をとり、現在の教育状況に不案内で、良いアンケートが書けたかわからない。こうしたアンケートが良い方向を指し示す方向を生むとは考えがたい！現場の考えで進める事を望みます。ただし、財源に見合ったプランが第一です。白馬校の「てつ」をふまない様に！《70代》
- 新しい学校施設は不要と考えますが、村民（子供から～老人）全てが気がるにかいてきにすごせる図書館が必要。小人～大人までがすごせる公園をすぐにつくって下さい。《40代》
- 増々、高令化していく白馬村です。近所も60代からの二世帯が多くそんな高令者が興味、意欲の向けれる学習の広場があればいいと思います。「予算がない！」で片づけず、新村長に期待しております。《60代》